



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社 富山銀行
 コード番号 8365
 代表者(役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員
 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <https://www.toyamabank.co.jp/>
 (氏名) 中沖 雄
 (氏名) 森永 利宏 TEL 0766-21-3535

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,306	△0.8	466	△15.4	324	△15.0
2024年3月期第1四半期	2,325	△42.3	551	△12.1	381	60.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △596百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 1,566百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	59.80	—
2024年3月期第1四半期	70.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	563,493	30,570	5.2
2024年3月期	552,196	31,303	5.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 29,687百万円 2024年3月期 30,426百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	450	—	350	—	64.56
通期	900	14.2	700	10.7	129.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,444,400株	2024年3月期	5,444,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	23,711株	2024年3月期	23,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,420,689株	2024年3月期1Q	5,413,756株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 2025年3月期 第1四半期決算短信 説明資料	8
(1) 2025年3月期 第1四半期 損益の状況(単体)	8
(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)	9
(3) 自己資本比率(国内基準)	9
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	10
(5) デリバティブ取引(単体)	10
(6) 預金・貸出金等の残高(単体)	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(2024年4月1日～2024年6月30日)の連結経営成績については、経常収益は、資金運用収益は増加しましたが、前年同期比19百万円減少して2,306百万円となりました。一方、経常費用は、営業経費が増加したことなどから、前年同期比65百万円増加して1,839百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比85百万円減少して466百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比57百万円減少して324百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の連結財政状態については、預金は引続き地域に密着した営業基盤の拡充に努めた結果、個人預金・法人預金がともに増加したことから、前連結会計年度末比17,295百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末残高は515,974百万円となりました。貸出金は、大企業向け貸出金の減少を主因に、前連結会計年度末比4,877百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は374,369百万円となりました。有価証券は、金利リスクに配慮するとともに安定収益と流動性確保を目的に資金の効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比1,041百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末残高は129,037百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、2024年5月10日に公表した2025年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を上回っておりますが、今後の景気動向など経営環境を見極める必要があることから、現時点において業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	33,312	48,395
有価証券	127,995	129,037
貸出金	379,247	374,369
外国為替	599	479
リース債権及びリース投資資産	4,058	4,129
その他資産	1,471	1,488
有形固定資産	8,532	8,475
無形固定資産	360	352
退職給付に係る資産	869	887
繰延税金資産	31	232
支払承諾見返	1,284	1,144
貸倒引当金	△5,565	△5,498
資産の部合計	552,196	563,493
負債の部		
預金	498,679	515,974
コールマネー及び売渡手形	11,700	11,700
借入金	6,573	1,470
その他負債	1,383	1,548
賞与引当金	117	—
退職給付に係る負債	472	467
役員退職慰労引当金	3	3
睡眠預金払戻損失引当金	10	10
偶発損失引当金	106	114
繰延税金負債	72	—
再評価に係る繰延税金負債	488	488
支払承諾	1,284	1,144
負債の部合計	520,892	532,923
純資産の部		
資本金	6,730	6,730
資本剰余金	6,244	6,244
利益剰余金	13,922	14,110
自己株式	△56	△56
株主資本合計	26,841	27,030
その他有価証券評価差額金	2,358	1,448
土地再評価差額金	1,031	1,031
退職給付に係る調整累計額	194	176
その他の包括利益累計額合計	3,585	2,657
非支配株主持分	877	882
純資産の部合計	31,303	30,570
負債及び純資産の部合計	552,196	563,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
経常収益	2,325	2,306
資金運用収益	1,366	1,388
(うち貸出金利息)	866	872
(うち有価証券利息配当金)	484	496
役務取引等収益	337	360
その他業務収益	381	414
その他経常収益	240	141
経常費用	1,774	1,839
資金調達費用	6	25
(うち預金利息)	6	21
役務取引等費用	86	89
その他業務費用	346	379
営業経費	1,286	1,333
その他経常費用	48	12
経常利益	551	466
特別利益	—	—
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	551	466
法人税、住民税及び事業税	3	7
法人税等調整額	159	129
法人税等合計	162	136
四半期純利益	389	330
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	381	324

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	389	330
その他の包括利益	1,177	△926
その他有価証券評価差額金	1,179	△908
退職給付に係る調整額	△2	△17
四半期包括利益	1,566	△596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,556	△603
非支配株主に係る四半期包括利益	9	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	1,929	379	2,308	17	2,325	—	2,325
セグメント間の 内部経常収益	5	2	7	2	10	△10	—
計	1,934	382	2,316	19	2,336	△10	2,325
セグメント利益	531	6	538	15	553	△2	551

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、保証業務であります。

3. セグメント利益の調整額△2百万円には、セグメント間取引消去△2百万円が含まれております。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	1,877	419	2,297	8	2,306	—	2,306
セグメント間の 内部経常収益	4	2	6	2	9	△9	—
計	1,881	422	2,304	11	2,315	△9	2,306
セグメント利益	448	12	460	7	467	△1	466

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
 2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、保証業務であります。
 3. セグメント利益の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去△1百万円が含まれております。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	116百万円	123百万円
のれんの償却額	一百万円	一百万円

3. 2025年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

(1) 2025年3月期 第1四半期 損益の状況(単体)

- コア業務純益は、経費の増加を主因に、前年同期比49百万円減少し、298百万円となりました。
 ○経常利益は、コア業務純益の減少を主因に、前年同期比83百万円減少し、448百万円となりました。
 ○四半期純利益は、前年同期比54百万円減少し、317百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第1四半期 (A) (3ヵ月間)		2024年3月期 第1四半期 (B) (3ヵ月間)	2025年3月期 第2四半期 累計期間公表値 (6ヵ月間)
			前年同期比 (A) - (B)		
経常収益	1	1,881	△ 52	1,934	
業務粗利益	2	1,633	20	1,612	
資金利益	3	1,367	2	1,365	
役務取引等利益	4	263	20	243	
その他業務利益	5	2	△ 2	4	
うち国債等債券損益(5勘定戻)①	6	—	—	—	
経費(除く臨時処理分)	7	1,334	69	1,264	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前) ②	8	298	△ 49	347	
コア業務純益 ②-①	9	298	△ 49	347	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	10	298	△ 49	347	
一般貸倒引当金繰入額③	11	—	—	—	
業務純益	12	298	△ 49	347	
臨時損益	13	149	△ 34	183	
うち不良債権処理額④	14	—	—	—	
うち貸倒引当金戻入益⑤	15	60	△ 95	155	
うち償却債権取立益	16	7	△ 0	7	
(貸倒償却引当費用③+④-⑤)	17	△ 60	95	△ 155	
うち株式等関係損益	18	0	48	△ 47	
経常利益	19	448	△ 83	531	450
特別損益	20	△ 0	0	△ 0	
うち固定資産処分損益	21	△ 0	0	△ 0	
税引前四半期純利益	22	448	△ 83	531	
法人税、住民税及び事業税	23	3	0	2	
法人税等調整額	24	127	△ 29	157	
法人税等合計	25	130	△ 29	159	
四半期純利益	26	317	△ 54	371	350

(注) コア業務純益は、「業務純益」-「国債等債券損益(5勘定戻)」+「一般貸倒引当金繰入額」です。

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)

○金融再生法ベースの開示債権は10,866百万円となり、総与信残高に占める比率は2.83%となりました。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,783	4,063	4,978
危険債権	4,441	4,364	4,385
要管理債権	1,640	744	1,342
合 計	10,866	9,172	10,706
総与信残高に占める割合	2.83%	2.33%	2.75%

(注) 上記の2024年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、各開示区分の計数は2024年6月末時点での当行の定める自己査定基準に基づく債務者区分を基に集計しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権 (破綻懸念先の債権)

要管理債権 (要注意先のうち、利払いが三月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

(3) 自己資本比率 (国内基準)

○2024年6月末の連結自己資本比率は8.41%となりました。

	2024年6月末	2024年3月末
連結自己資本比率	8.41%	8.22%

(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

○時価のある有価証券の評価差額は前年同期末比2,319百万円減少し、1,995百万円の評価益となりました。

○評価差額

	(単位：百万円)				(参考) (単位：百万円)							
	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
その他有価証券	125,766	1,995	7,585	5,590	122,975	4,315	8,440	4,125	124,691	3,301	7,916	4,614
株式	12,227	5,765	5,923	157	12,275	5,915	6,245	330	12,109	5,919	6,064	145
債券	79,302	△1,882	328	2,211	77,096	△345	680	1,025	78,442	△1,085	456	1,542
その他	34,236	△1,887	1,333	3,221	33,602	△1,255	1,514	2,769	34,138	△1,532	1,394	2,927

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。なお、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	(単位：百万円)				(参考) (単位：百万円)							
	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
満期保有目的の債券	88	△0	—	0	105	△0	0	0	89	△0	—	0

(5) デリバティブ取引(単体)

①金利関連取引 該当ありません。

②通貨関連取引

区分	種類	(単位：百万円)						(参考) (単位：百万円)		
		2024年6月末			2023年6月末			2024年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	為替予約	92	0	0	19	△1	△1	128	△1	△1
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

③株式関連取引 該当ありません。

④債券関連取引 該当ありません。

⑤商品関連取引 該当ありません。

⑥クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

(6) 預金・貸出金等の残高(単体)

○預金は、個人預金が増加したことから、前年同期末比1,838百万円増加し、516,614百万円となりました。
○貸出金は、大企業向け貸出金の減少を主因に、前年同期末比8,277百万円減少し、375,772百万円となりました。

○預かり資産は、投資信託が19,251百万円(前年同期末比4,832百万円増加)、国債が201百万円(前年同期末比74百万円減少)となりました。

①預金・貸出金の残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末	
預	金	516,614	514,776	499,315	
	うち個人預金	374,735	370,212	370,668	
貸	出金	375,772	384,050	380,332	
	うち個人ローン	44,380	43,248	44,247	

②預かり資産残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末	
投	資	19,251	14,419	17,118	
信	託				
国	債	201	276	221	